

自治体名	静岡県 浜松市
------	---------

女性の健康支援対策の概要

一人ひとりの女性が健康への意識を高めることができるように、その支援方法を構築することを目的に、健康情報の提供媒体による効果を比較し、効率的な啓発方法を明らかにし、その結果を元に効率的な啓発を行い、がん検診受診率向上等女性の健康づくり推進する。

自治体の特徴

本市は、首都圏と関西圏の二つの経済圏のほぼ中間に位置し、面積は静岡県の約2割を占め、気候は温暖である。また本市は、JR浜松駅を中心とした都市的機能や先端技術産業が集積する都市部、都市近郊型農業が盛んな平野部、広大な森林を擁する中山間部、さらには、漁業が営まれる沿岸部までと、全国に類を見ない地域の多様性を有している。

人口構成・(H21.4.1現在)

	総数	男	女
人	792,104	394,090	398,014
割合(%)			

15歳未満	112,575	58,048	54,527
15～64歳	504,735	259,681	245,054
65歳以上	91,046	43,742	47,304
75歳以上	61,287	26,237	35,050
85歳以上	22,461	6,382	16,079

女性に関する健康課題

平成19年度に実施した健康はままつ21中間評価のための市民調査によると、19歳～29歳女性のやせの割合が20%であった。特に20歳代前半のやせは増加傾向にある。また「食育」といった言葉の周知度は高く、意識も高いと推測されるが、食生活の乱れを指摘する声も多かった。

女性特有ではないが、主観的健康感、若年層ほど高く、「生活習慣病予防」といった意識は若年層ほど低い傾向が見られた。

がん検診においては、「乳がん」「子宮がん」といった女性特有のがん検診受診率は、他都市と同様10%前半台と低い。特に年齢が低いほど、受診率も低くなっている。

事業費(千円)

(1) 思春期から30歳代における健康支援事業	3,995
(2) 中高年期における健康支援事業	1,908
(3) 女性のがん支援事業	(1) に計上
(4) 事業全体	5,187

計

11,090

事業の工夫点

- ・対象として、児を通じてではあるが、最も健康へ関心を持つ乳幼児をもつ母親と設定。
- ・若い母親が関心、興味をもってもらえるよう教室名、チラシ内容、周知方法を検討。
- ・対象が育児中の母親のため、託児を行い、参加回数も2回とした。

事業の効果についての評価・考察

- ①若年層への生活習慣病予防の意識啓発対象を「乳幼児を育児中の母親」に設定したことは有効であった。
- ・乳幼児の母親は、自由に外出できないことが多く、自分に時間をかけたいがかけられない現状があり、育児支援という側面からも、教室開催は有効であった。
 - ・「乳幼児を育児中の母親」は児に対する健康意識は高いので、きっかけがあれば、容易に自分の健康や生活習慣に関する意識を高めることができる。(ただし、普段は自身への健康意識は高くない)
- ②対象を明確にしたことで、周知方法やタイトル等実施方法の検討が行いやすく、効果的な方法を実施できた。
- ・「健康」、「生活習慣病」といった言葉は、若年層は敬遠する。(高齢者のイメージ)
 - ・「アロマ」「肌」「きれい」といった美容フレーズが女性には大変有効。

今後の課題

- 1 母子保健事業との連携
 - ・健康への意識を高め、維持していくには、繰り返しの啓発が必要である。
 - ・赤ちゃん訪問事業、乳幼児健康診査事業等の母子保健事業で、母親自身への健康支援をいきたいと考えている。
- 2 食生活に対する啓発

ホームページ	
照会先	浜松市健康医療部健康増進課成人グループ TEL053-453-6125

事業評価	(自己評価)	
①活動内容	3	全女性市民の数から考えると少ないが、有効性は高く女性の健康づくりに寄与したと考える。
②独創性	3	教室内容そのものは、従来と変化なし。
③普遍性	5	多くの地域で実施可能である。
④将来性	5	母子保健事業との連携でより、広く実施できる。
⑤効果度	4	対象を母親にしたことで、健康に対する意識の向上など効果があった。
⑥信頼度	3	参加者アンケートのみ

